後世に誇りをもって継承できるよう、美田と景観・生活環境を守りましょう

雷山通信

第７号
平成22(2010)年2月6日発行
雷山の美田と生活環境を守る会
会長　楢崎清和 090-3799-4755

九電の回答は問題あり。住民の不安は解消せず！

九電は、前原市に対し昨年12月25日に、雷山の美田と生活環境を守る会に対し１月14日に回答書を提出しました。多くの問題点を含んだ内容です。蔵持行政区は１月９日に九電・市から計画変更の説明を受け、驚きの事実が判明しました。住民の不安は解消していません！

◆問題点１　雷山の歴史的景観は破壊

平野部だけの地下埋設では、山腹に巨大鉄塔が林立し、肝心の霊峰 雷山の歴史的景観は破壊されます。

◆問題点２　埋設の深さはたったの1.5ｍ 電磁波の人体への影響が心配

埋設の深さはたったの１．５ｍです。送電線と地表面との距離は、鉄塔に吊すより13分の１から30分の１に接近します。また、高圧送電線は、蔵持・三坂行政区の真横を通過します。生活空間に接近し、電磁波の人体への影響が心配されます。【裏面参照】

◆問題点３　九電は最新のＷＨＯの見解を無視

九電が示す電磁波基準値８３マイクロテスラは危険な数値です。これは短時間で人体被害を生じる急性被曝の数値です。弱い電磁波を長期にわたって浴び続ける慢性的影響を想定したものではありません。ＷＨＯは、高圧送電線等から出る0.3～0.4マイクロテスラ（テレビから１ｍ離れた磁界が0.1マイクロテスラ）の超低周波磁界を毎日浴び続けると、小児白血病が増加することを認めています。

◆問題点４　なぜ､雷山なのか？ 九電の説明なし

当会は、一昨年来、九電・市に対し、①計画の必要性、②ルート選定の妥当性について、問題点を指摘し、説明を求めてきましたが、九電は当初からの主張を繰り返すだけで、質問に対する回答はありません。第１・第２段階の説明を省いたまま、なぜ、一足飛びに、雷山ルートでの工法の問題となるのでしょうか？